

務の戦略について

前期の売上高と
恩恵を目標に掲
しかし、新型
イルス感染拡大
6月に韓国で
ったグローバル
ンションが延期
ーションも
こともなっただ
には若干届かな
もある。

フィールドの
は高く、
月の売り上げは
割近く達成し
も含め、世界の
も日本は善戦
と言える。この
を前に、あきら
はなく、状況に
東に全力を尽く

コミュニケーションショ
る点が面白い。
は既存会員だけ
新規会員も増え
ビジネスメンバ
い方をお誘いし
L200.0で参
魅力を伝
なっている。こ
思を頻繁にもつ
さなかった会員
につなげて
統的な利用につ
きたい。
後の展望につい

セミナーをさ
せて、参加者
ていきたい。当
ラインでの活動
せていくが、新
イルスが終息
盛大にイベント
、メンバーの
なせることを楽



、染めをする
をLINEのグ
配信し、既存会
につなげた。
タイムヘナ」だ
4月に発売し
乳酸菌サプリ
ロバイオティ
の販売にも



Di☆Consentes

株式会社ディー・コンセンテス
〒541-0059 大阪市中央区博労町1-7-7 中央博労町ビル702
TEL.06-7878-3278 FAX.06-7635-9164



ヒト幹細胞培養液

Flower of Life

失われたものを与えるのではなく
自ら造り出す“力”
新時代のエイジングケア

ケイ素や水素を横展開

プレミカ・ジャパン

ケイ素・水素や乳酸菌
関連の商材でネットワー
クビジネス（NB）を展
開するプレミカ・ジャパ
ン（本社東京都、田谷卓
司社長）では、同社の主
力商品であるケイ素と水
素の生成スティック「ア
クアシード」を応用し、
ケイ素と水素水をより有
効的に活用できる美容機

器「ハンディミストス
プレー」を19年5月から販
売している。
ハンディミストスプレ
ーは、肌のケアに使用す
る美容機器。アクアシ
ードで生成した水は、高濃
度のケイ素や水素を発生
させるだけでなく、除菌
や殺菌などへの効果も期
待される。顔や手など肌

荒れが気になるところを
中心に、さまざまな部位
に使用することができ
る。使用方法は、同機器
にアクアシードで生成し
た水を入れ、電源を入れ
るだけ。噴射口から霧状
の水が噴霧される。
ケイ素と水素の生成器
であるアクアシードは、
改良も実施している。水
や加熱によって形状を変
化させた場合でも水素が
抜けにくいように改良。
スティックには銀を配合
し、より抗菌効果を高め
る商品にしているとい
う。同社では現在、アク
アシードの効果試験を実
施している。

東京都ではなく、大阪府
や広島県、福島県なので、
東京を拠点にしている他
社よりもダメージは小さ
いと思う。一方で、コロ
ナ禍でエステサロンを閉
店している会員もいる。
感染第2波の可能性もあ
るので気を引き締めてい
きたい」と話している。

野菜に付着している農
薬や、肉の発色剤などの
不純物を
除去する
ことがで
きる可能
性がある
ことを視
野に試験
を重ねて
いるとい
う。

に、製品配布とアンケー
トを合計1000人に実
施した。6月19日時点で、
既存の会員を中心に約8
00個の「ロバイオテ
イクス」を売り上げてい
るという。



同社が提供している「ハンディミ
ストスプレー」

2020年(令和2年)6月25日

日本流通産業新聞

ニナファームジャパン

20年3月期、73億円に

3月単月で15億円の過去最高

ニナファームジャパン(本社東京都、ベジット・イデアス会長)の20年3月期の売上高は前期比21.6%増の73億円となった。増収はNB事業開始から13年連続。全ての月で前年同月比20%増で推移したほか、20年3月度の月商が15億円に達するなど単月で過去最高を更新した。

主な製品セグメント別の売上高は「サプリメント」が同4.3%増の48億円、「スキンケア」が同13.5%増の16億1900万円だった。

3月限定で、美容をコ

スキンケアを普及させることを目的に、製品体験会「美肌塾」を主催し、SCや会員が運営するサロン「プラス」ドゥ「ナ」の活用を促進する三位一体の施策を打ち出している。

21年3月期の出足も好調だ。4・5月度の単月売上高は前年同月比20%増、5月度の新規会員登録は7000人を超え

訪販企業のコロナ対応

幹細胞を使った化粧品やサプリのネットワークビジネスを主宰するジュネスグローバル(本社東京都、中島ディビッド大輔日本地域担当プレジデント)は、コロナによる外出自粛の影響で会員の活動が制限される中で、会員のサポートを強化している。同社のコロナ禍の会員サポート戦略の中核は、キャンペーンや製品情報の「シンプル化」。Zoomミーティングを積極的に配信したことなども奏功し、5月度の月商は前月比で2.5倍に伸びたとしている。

「ボジション」に「分りやすく」ジュネスグローバルでは3月、さらに、本社の体制や会員活動について、シンプル化戦略のプランニングを開



本社スタッフがオンラインで化粧品のデモを実践

ト取得の条件が厳しく、最大1300円に料が1300円にキャンペーンも「ダイヤマン」キャンペーン「オンライン」した。活動で「オンライン」した。活動で「オンライン」した。活動で「オンライン」した。

アマゾンでの販売を開始

日本アムウェイ(本社東京都、ピーター・ストライダム社長)は6月21日、栄養補助食品ブランド「ニュートリライト」をネット通販の「Amazon.co.jp」での販売を開始した。

ネットワークビジネスというオフラインだけでなく、オンラインでも「ニュートリライト」の認知を向上させて製品愛用者を増やすのが狙いだ。

アムウェイのABO



「サヴォアンベリール」ブランドの「ナ」の活用を促進する三位一体の施策を打ち出している。

6月の売上は回復見通す

中野高昭社長(6月)の売り上げが、前年同月実績を維持し回復の見通し。地方での会員主催による製品体験イベントを少しずつ再開させていることが業績回復の要因としている。

5月度の業績は、大型連休だけでなく、緊急事態宣言が発令されたことで活動や外出の自粛が悪影響をもたらした。会員がサロンや美容室で、髪染めの体験ができなくなったため、5月度の売り上げは、前年同月比で割減となった。

6月に入り、緊急事態

地方で製品の体験イベントを再開
ワークビジネス(NB)・ジャパン(本社東京都)

「ナ」の活用を促進する三位一体の施策を打ち出している。

プレミカ・ジャパン

円谷卓司 代表取締役

ケイ素・水素の生成器や乳酸菌商品をネットワークビジネス(NB)で展開するプレミカ・ジャパン(本社東京都、円谷卓司社長)の業績が好調だ。20年4-5月度の売上高は、前年同期比で2倍以上伸び、6月度も19日時点で、前年同月と同じ売り上げを更新している。円谷社長は今後の日本経済の動向や医療費、年金問題に目を向けた情報を常に発信。自力で収入を得る時代が来ることを前提に、会員がより飛躍できるような、業界の垣根を超えた販促手法や収益モデルの構築に向けた取り組みも開始した。最近の業績や今後の戦略について円谷社長に話を聞いた。



話している。時代が日々変化の中、当社を通じて、みなさんを幸せに、そしてついでに飛躍させていくなぞを話そうとしている。話している。時代が日々変化の中、当社を通じて、みなさんを幸せに、そしてついでに飛躍させていくなぞを話そうとしている。

業界の垣根を超えて会員が飛躍する時代へ

直近の業績について。6月度も19日時点で前年同月の売り上げを超えた。4カ月連続で大きく伸びているため、このまま成長を維持していきたいと思っている。好業績が続いているが、何か戦略的なことを

話している。時代が日々変化の中、当社を通じて、みなさんを幸せに、そしてついでに飛躍させていくなぞを話そうとしている。話している。時代が日々変化の中、当社を通じて、みなさんを幸せに、そしてついでに飛躍させていくなぞを話そうとしている。

発行所 日本流通産業新聞社

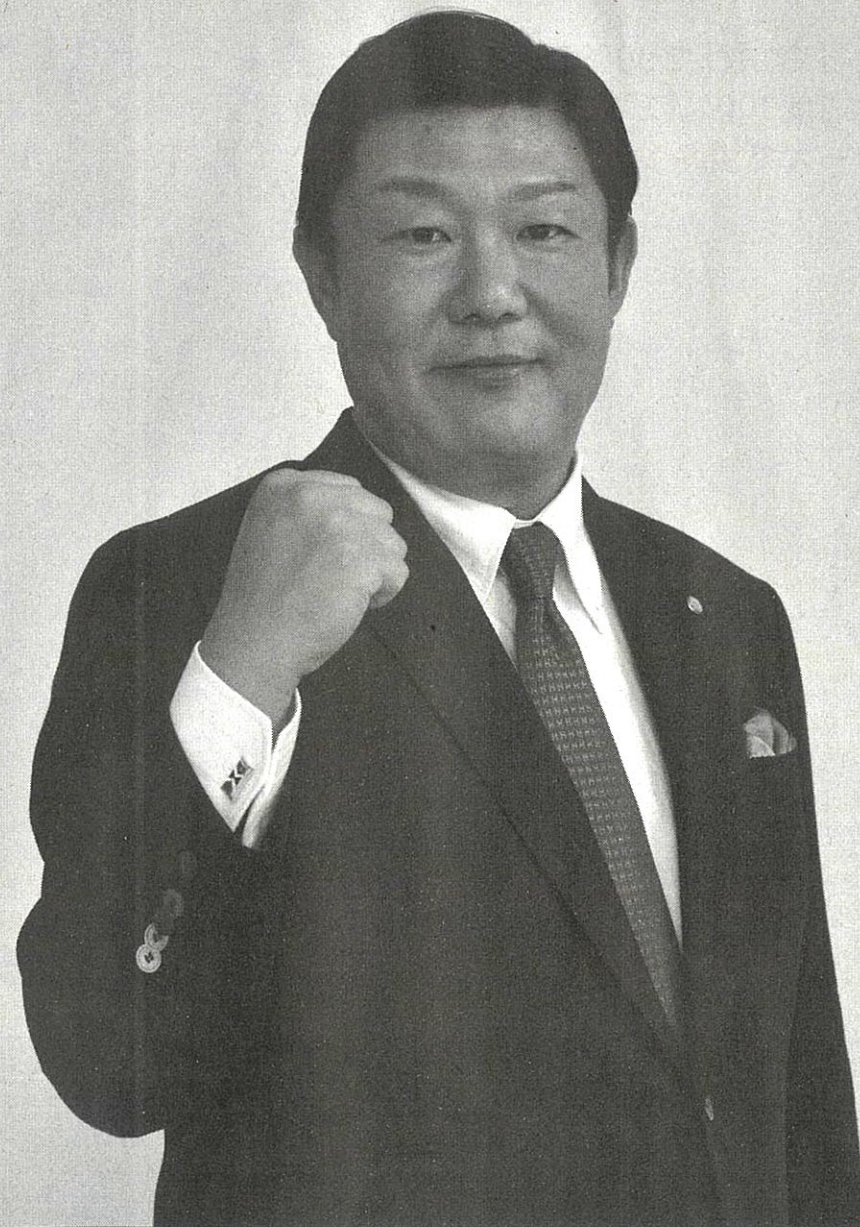
亀岡大郎取材班グループ／(社)日本専門新聞協会 加盟
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町11-11ニッシンビル2F
TEL 03(3669)3421(大代) FAX 03(3661)5509
年間購読料 32,476円(税込)／郵便振替 00180-2-18323

 Premica
JAPAN



アクアシードプラスワン(写真左)
水素+ケイ素発生セラミック

アクアフローラ(写真右)
1日1粒で水素1ppm、ケイ素450mg、乳酸菌1兆個を摂取



Premica JAPANに関わる全ての方が、弊社製品で健やかな毎日を迎え、ビジネス参画されている会員様はコミッションを取得することにより、小さな社会【ここで言う小さな社会とは家庭や家族、友人】に笑顔が戻りそれが全国に広がれば、明るい未来を想像できる社会、豊かな社会の実現に少し近づけるのではと信じています。

本当の意味での社会貢献は、国民一人ひとりが健康を持続し病院にお世話になることなく、元気であること、生涯現役で働けるビジネススキームを持ち合わせる企業体こそが必要不可欠で持続可能な社会貢献だと私は考えます。

弊社は、持続可能な社会貢献と、循環型社会の実現する企業を目指していきます。

最後になりましたが、Premica JAPANが皆様のお役に少しでもたてること、そう願ってやみません。

代表取締役
円谷 卓司



アクアシードプラスワン(写真左)
水素+ケイ素発生セラミック

アクアフローラ(写真右)
1日1粒で水素1ppm、ケイ素450mg、乳酸菌1兆個を摂取



Premica JAPANに関わる全ての方が、弊社製品で健やかな毎日を迎え、ビジネス参画されている会員様はコミッションを取得することにより、小さな社会【ここで言う小さな社会とは家庭や家族、友人】に笑顔が戻りそれが全国に広がれば、明るい未来を想像できる社会、豊かな社会の実現に少し近づけるのではと信じています。

本当の意味での社会貢献は、国民一人ひとりが健康を持続し病院にお世話になることなく、元気であること、生涯現役で働けるビジネススキームを持ち合わせる企業体こそが必要不可欠で持続可能な社会貢献だと私は考えます。

弊社は、持続可能な社会貢献と、循環型社会の実現する企業を目指していきます。

最後になりましたが、Premica JAPANが皆様のお役に少しでもたてること、そう願ってやみません。

代表取締役
円谷 卓司